

ここが聞きたい

一般質問



一般質問とは、議員が自身の考えや市民の皆さんの声をもとに市の行財政全般について方針や執行状況などを質問することです。

予算要求上限額の設定があっても重点化予算につながるか

計画的かつ効果的で、事業の柔軟な見直しと重点化を図っている



大竹 正章
自由民主党田原市議団



予算編成について

問 今回は、総合計画最終年度目前の予算編成となる。目指す都市像の実現に向けて総括的な予算とする必要があると考えるが、本市の取り組み状況は。

答 総合計画においては、各分野の施策を推進するため、向こう3カ年に実施すべき事業の方針を示し、計画期間中に取り組む主な事業を毎年度見直す実施計画として策定している。特別な対応を行うのではなく、これまでと同様、長期的な展望に立った計画的な行政運営に取り組んでいく。

問 予算編成の基本方針では、「総合計画及びまち・ひと・しごと創生総合戦略の着実な実施」や「ポストコロナ対策の実施」など5つの基本方針を掲げたが、基本的な考えは。

答 総合計画及びまち・ひと・しごと創生総合戦略の着実な実施については、長期的な展望を見据えながら、喫緊の課題に向けて事業展開を図っていくことが重要である。また、ポストコロナ対策の実施については、感染防止対策だけでなく、地域経済の下支え、日常生活や働き方の変化への対応など、臨機応変な取り組みが必要になると認

識しているなどである。

問 予算編成方法は部ごとに要求上限額を設定する一方で全ての事業見直しを積極的に進め、事業の重点化を求めている。要求上限額の設定があっても、全市的な大胆な事業見直しや、めりはりのある重点化につながるか。

答 大規模事業を調整する実施計画の事前調整、要求上限額の配分、重点施策への特別枠の確保により、計画的かつ効果的な予算編成、事業の柔軟な見直しと重点化を図っている。

